



所信声明

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、インターセックス (LGBTI) の人々の人権 Human Rights of Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender and Intersex (LGBTI) People

背景

国連の世界人権宣言¹は、「人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で譲ることのできない権利とを承認することは、世界における自由、正義および平和の基礎である」と謳っている。ICM は、その「助産師の倫理綱領²」の中で、助産師がすべての人々の人権を承認・支持・尊重することの重要性を明記している。2015年、世界保健機関（WHO）は、国連人口基金（UNFPA）とその他10の国連機関と共同で、「私たちはなお、世界中で何百万というLGBTIの個人、LGBTIおよびその家族と見られる人たちがさまざまな人権侵害にさらされていることに重大な懸念を抱いている。そのために警告し、行動を求めるものである」との声明を出している³。

歴史を振り返ると、妊娠している人はすべて異性関係を持ち、女性と見なされるという仮定のもと、LGBTIの人々は、ケア提供者・団体・政府によって、妊娠出産ケアの中で置き去りにされてきた。サービスの提供に差別があるために、LGBTIの人々は妊娠中または出産後の新生児について、必要な医療サービスを受けるのを遅らせたり避けたりする可能性があり、彼らの健康そのものがリスクにさらされることが多い⁴。健康の公平性を決定づけるのは、すべての個人が歓迎され尊厳と敬意を持って対応される環境を提供するために、ケアの提供者がLGBTIの人々のニーズについての情報、および十分な技能（例えば、使用する言語）を持っているかどうかである。

¹ UN. 1948. Universal Declaration of Human Rights. <http://www.un.org/en/universal-declaration-human-rights/>

² ICM. 2014. International Code of Ethics for Midwives

³ ILO, OHCHR, UNDP, UNESCO, UNFPA, UNHCR, UNICEF, UNODC, UN Women, WFP, WHO and UNAIDS. 2015. Ending violence and discrimination against lesbian, gay, bisexual, transgender and intersex people

⁴ Institute of Medicine, 2011

所信声明

ICM は、すべての人がその性的指向、性自認、性表現に関わりなく、人間らしく、包括的な助産ケアを受けられる権利を支持する。

ICM は、すべての人の自己決定の権利、および差別、同性愛嫌悪、トランスジェンダー嫌悪、偏見のない医療を受ける権利を尊重することが、助産師にとって非常に重要であると考える。

ICM は、すべての人がその性的指向や性自認、性表現に関わりなく、助産師として仕事をする権利と、その実践や職務において支援を受ける権利を持つことを認識している。助産の実践は、ケアの対象とする家族の多様性を反映して、実践者の側にも多様性があることにより強化され、豊かになる。

会員団体への推奨

会員団体に対して、以下の行動を求める。

- 助産サービスを必要とするすべての人を快く受け入れ、性的指向や性自認、性表現に関わりなく、思いやりのある文化的に安全なケアを提供すること。
- LGBTI の助産師に対し、法律等の範囲内で、その助産実践と助産職において支援すること。
- 各国の助産のカリキュラムに、倫理と人権の原則を含めるよう訴えること。

関連 ICM 文書

- ICM. 2008 基本文書 ビジョン
ICM. 2014 基本文書 助産師の倫理綱領
ICM. 2017 基本文書 ICM 助産師の定義

その他の関連文書

UN. 1948. United Nations Declaration of Human Rights

UN Human Rights Office of the High Commissioner. 2015. Ending Violence and Discrimination Against Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender and Intersex People

Canadian Association of Midwives. 2015. Statement on Gender Inclusivity and Human Rights

ILO, OHCHR, UNDP, UNESCO, UNFPA, UNHCR, UNICEF, UNODC, UN Women, WFP, WHO and UNAIDS. 2015. Ending violence and discrimination against lesbian, gay, bisexual, transgender and intersex people

IOM. 2011. The Health of Lesbian, Gay, Bisexual, and Transgender People: Building a Foundation for Better Understanding. Washington, DC: The National Academies Press.

The Lancet. 2016. Series on Transgender Health. Volume 388, Issue 10042.

2017 年トロント国際評議会にて採択

次回の見直し予定 : 2023 年

2017 年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会<http://www.midwife.or.jp/>に連絡し使用許諾を得てください。